

さいばいだより

平成 16 年 11 月

第 37 号

鳥取県栽培漁業協会・鳥取県栽培漁業センター

鳥取県東伯郡湯梨浜町大字石脇

TEL 0858-34-3321

美保湾におけるクルマエビ放流事業

資源回復に向けた新手法の導入！！

美保湾におけるクルマエビの放流は境港市漁協（現在：鳥取県漁協境港支所）を中心に昭和 47 年から開始されており、本県では最も長く続けられている歴史のある栽培漁業です。

しかし、近年漁獲量は減少傾向にあり、クルマエビの成育場とされる中海でも稚エビを見かける機会が少なくなったといわれています。

そのため、放流の効果を疑問視する声も聞かれており、早急に今行っている放流を見直し、現在の美保湾及び中海の環境に合った放流方法へ改善して行くことが急務となっています。

そこで、今年度はこれまで実施してきた囲い網による馴致放流の他に、新たな方法として“夜間放流”に取り組むこととなりました。

この方法は食害魚が少ない夜間に小型船を走らせながら稚エビをホースで海底に放流していくもので、京都府が以前から行っており、地区によっては高い効果が報告されています。

また、今年度は標識エビの放流（P6 参照）についても、この夜間放流で行っており、今後は効果把握を行っていくと伴に、この新手法の導入によるクルマエビ資源の回復を期待していきたいです。



夜間放流の風景



サイホン方式で海底に放流



活魚車で運搬



積み込み作業